

平成20年6月27日

報道者関係各位

三洋ホームズ株式会社

**太陽光発電「グリーン電力証書」に対応した
次世代ホームネットワーク「SAN GENiS」(サンジェニス)を開発
～ 2008年7月3日東京・駒沢展示場にて報道関係等向け説明会開催 ～**

三洋ホームズ株式会社(本社:大阪市 社長:田中康典)は、「エコ&セーフティ」を企業コンセプトに、太陽光発電やオール電化などの「創エネ・省エネ」、そして制震装置や気象庁・緊急地震速報などの「安全・安心」といった“人と地球に優しい”取り組みを行っています。

昨今、地球温暖化問題に対する取り組みが活性化する中、再生可能エネルギーの利用拡大にむけた「グリーン電力証書」が注目されつつあります。しかしながら戸建住宅に設置された太陽光発電システムは、自家消費量の計測にかかるコスト負担増や、システム全体フローの未確立により、「グリーン電力証書」が十分に活用されていないのが現状です。

三洋ホームズではこれまで、太陽光発電やオール電化、気象庁・緊急地震速報等の標準化への取り組みを活かし、「グリーン電力証書」・「省エネの見える化」・「家族の見守り」・「緊急地震速報」の4つをトータルに管理できる統合型次世代ネットワークシステム「SAN GENiS(サンジェニス)」を開発。住宅における、くらしのトータルシステムとすることで、「グリーン電力証書」対応システム導入における初期コストを大幅に抑制し、費用対効果の見込める仕組を提案することが可能となりました。

今回開発したシステムは、計量法に基づいた検定付電力計測器とネットワーク機器を住宅内に設置。太陽光発電でつくられた電力の自家消費電力分のデータを収集し、そのデータに基づき認証機関にて認証された「グリーン電力証書」を発行するという機能を持っています。企業はこのグリーン電力証書を買取る事で自社の環境への取り組みを訴求する事ができ、又、太陽光発電を設置した住宅居住者は、「グリーン電力証書」という形で環境価値を企業に移転させた対価を得る事ができ、今までにないメリットを創出することができます。

三洋ホームズでは、統合型次世代ネットワークシステム「SAN GENiS」を活用した「グリーン電力証書」対応システムにより、太陽光発電の更なる普及・拡大が図られ、CO₂削減に大きく貢献できると考えております。

尚、今回この新しく開発した「SAN GENiS」を実際に体感頂き、ご理解頂く目的で説明会を開催いたします。

「SAN GENiS」の4つの特長

**「太陽光発電・グリーン電力証書」・「省エネ“見える化”」・「家族の見守り」・「緊急地震速報」の4つに対応
統合型次世代ネットワークシステムにより、イニシャル&ランニングコストを大幅に低減
戸建住宅の「グリーン電力証書」システム構築とシステムを活用した“省エネの見える化”
宅内ネットワーク、管理サーバ-を携帯電話から確認・操作“いつでもどこでも安全・安心”の見える化を実現**

<お問い合わせ>

三洋ホームズ株式会社 事業戦略室 (細井・中野・船曳)

TEL:06-6244-1543 FAX:06-6252-9810

< 解説 >

「太陽光発電・グリーン電力証書」・「省エネ“見える化”」・「家族の見守り」・「緊急地震速報」の4つに対応

これまでは個々のシステムとして導入していた4つの機能を、今回開発した、統合ホームネットワーク機器により対応。相互に連携することにより、より高度な機能を実現します。

太陽光発電・グリーン電力証書:「エネ - GREEN」

太陽光発電により発電された電力のうち、これまで見過ごされてきた自家消費分の環境価値を証書化し、太陽光発電設置者に利益を還元します。(例: 3kWシステムの場合で年間約1万円)

省エネ“見える化” :「見る - navi」

太陽光発電による発電量や家庭内の電力使用量などをパソコンや携帯電話に表示。当月の電気使用量が多い傾向があれば、電気の使いすぎを携帯電話にお知らせする「もったいないコール」などの機能により家族の省エネ活動を意識を高めます。

家族の見守り:「見守り - Call」

玄関にマグネットセンサーを設置し、家族が出入りしたときに音声でお知らせ。トイレに設置したセンサーと共に子供・高齢者の見守りや徘徊防止にも役立ちます。また室内に設置したパッシブセンサーにより、外出時に侵入者があった場合、音声で威嚇すると共に、携帯電話にメールを通知します。

緊急地震速報:「EQ - voice」

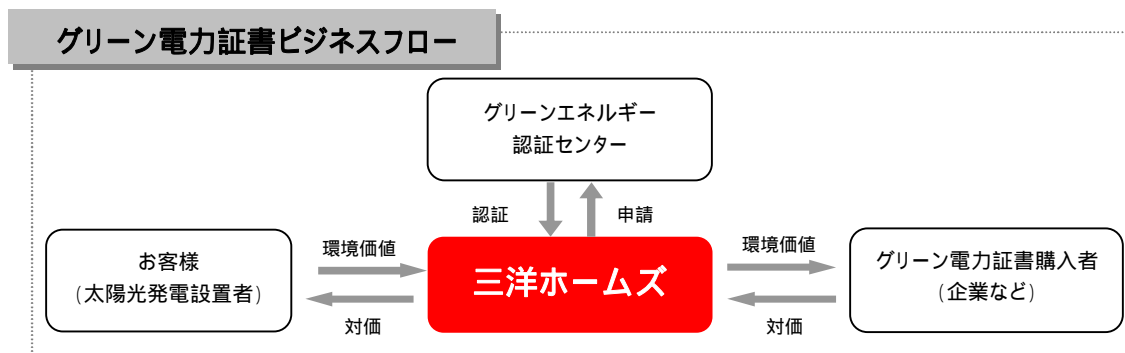
「地震の大きさ」・「震源地からの距離」及び「地盤情報」の特定により、到達時間と震度告知(震度5強など)をカウントダウン方式でアナウンスする高度利用者向けの配信サービスです。宅内へのアナウンスと同時に携帯電話へもメール通知し、家族間での安否確認が出来ます。

統合型次世代ネットワークシステムにより、イニシャル&ランニングコストを大幅に低減

独立した個別のしたシステムとして導入した場合、それぞれのシステムごとに機器が必要となります。そのためイニシャルコストが大きくなり、導入の妨げとなっていました。今回の統合システムでは通信機能やインフォメーション機能などの重複を避けることが可能となり、イニシャルコストの大幅な削減を実現しました。またランニングコストに関しても、4つのサービスをパッケージ化することにより負担を軽減しました。

戸建住宅の「グリーン電力証書」システム構築とシステムを活用した“省エネの見える化”

「グリーン電力証書」システム導入により、太陽光発電設置者に「証書化による利益」を還元するとともに、発電量・自家消費量・使用電力量など“省エネの見える化”を実現。これらの省エネ意識の啓蒙により、なかなか削減の進まない家庭部門のエネルギー削減に貢献します。



宅内ネットワークと管理サーバーを携帯電話から確認・操作“いつでもどこでも安全・安心”の見える化を実現

宅内ネットワークおよび、これらを総合管理するサーバーと携帯電話を連携させた、「家族の見守り」・「緊急地震速報」に対応。宅内の機器が異常を検知したり、高齢者が一定時間生活行為がなかった場合など、携帯電話にメールで通報。また緊急地震速報にも対応し、宅内でのアナウンスと同時に、あらかじめ登録している家族の携帯電話のメールアドレス等に通知を行い、万が一の場合の家族間の安否確認をサポート。いつでもどこでも家や家族とつながる安全・安心の見える化を実現します。

< 説明会情報 >

日程 : 平成 20 年 7 月 3 日 (木) 13 : 00 ~

場所 : 三洋ホームズ 駒沢展示場

〒158-0081

東京都世田谷区深沢 4-6

(駒沢公園ハウジングギャラリーステージ 2 内)

事前登録が必要です。お手数ですが添付の用紙にて問い合わせ窓口まで F A X 送付お願い致します。

